

No.16-167 講習会 「VE/VR を用いた設計・開発・ものづくりの新しい検討手法の紹介」
企 画 設計工学・システム部門
協 賛 自動車技術会, 精密工学会, 日本設計工学会, 日本計算工学会, 日本シミュレーション学会, 日本バーチャルリアリティ学会
開催日 2016 年 12 月 2 日 (金)
会 場 日本機械学会 会議室
〒160-0016 東京都新宿区信濃町 35 信濃町煉瓦館 5 階 / 電話 (03) 5360-3500 / JR 総武線「信濃町駅」駅前 (徒歩 1 分)
詳しくは下記の Web をご参照下さい。
<http://www.jsme.or.jp/gakka5.htm>

主 旨

Industry 4.0 や, IoT 等の Digital を用いたビジネスの動きや新しい開発/ものづくりの話題が毎日, 聞こえてくる昨今です. その動きの関連として「距離/時間/要素を同一の場」で検討できる共通 CAD/CAM/CAE/の駆使可能な 3D データ環境として VE (Virtual Engineering) が注目を集め, 加速展開がはじまっています. 機械学会 D&S 部門では 2013 年以来, VE と VR (Virtual Reality) の動向と活用検討を講習会を通して, 紹介して来ました. 昨年より, これに VT (Virtual Test) の動向も含めております. 本年も, 3D データの共通環境としての VE/VR のポテンシャルの最新状況の説明を行うとともに, 今後のその動向についての指針の一部を示す予定です.

題 目

司会 : (株) 本田技術研究所 内田孝尚

1. 10:00-11:15

仮題「新時代のものづくりと VR」

東京大学大学院情報理工学系研究科 教授 廣瀬通孝

内容:

VR をはじめとするリアルとバーチャルの境界領域に存在する一連の技術群が今後ひきおこすであろう社会変革は, いわゆるインダストリー4.0 の概念よりもずっと広汎なものである. 本講演では VR 技術の現状と将来についてまとめた上で, 新しい産業構造の在り方や方向性について, 具体的事例を交えて考えてみたい.

休憩 11:15-11:20

2. 11:20-12:20

「バーチャル環境とヒューマンインタフェース」

東海大学 情報通信学部 情報メディア学科 教授 濱本和彦

内容:

究極のバーチャル環境は現実環境と同じであるが, その実現は現段階では困難である. バーチャル環境と現実環境の違いが人間の認知や行動に与える影響とそ

の補償方法について述べるとともに、バーチャル環境を用いたヒューマンインタフェース評価の研究例について述べる。

休憩 12:20-13:20

3. 13:20-14:15

仮題「DMU を活用した開発・生産準備の見える化」

スズキ（株） 中村広樹

内容：

開発や生産準備で車両全体の DMU を活用した取り組みを行っています。その DMU をさらに活用していくために VR などのあたらしい技術を取り入れています。これらの取り組みについて説明を行います。

休憩 14:15-14:20

4. 14:20-15:15

「VR 活用による開発と生産部門連携例の紹介」

(株) 本田技術研究所 西川 活

内容：

VE (Virtual Engineering) 環境を用いた開発・ものづくりが進んでいる。

「最新の四輪開発現場でのヴァーチャルリアリティ生産準備活用状況」について、生産現場導入、データ構築、大画面型と没入型の使い分けなどノウハウを合わせて説明を行います。

休憩 15:15-15:20

5. 15:20-16:10

「VE 環境の動向と VT (Virtual Test) 拡大の新しい動き」

機械学会産学連携推進委員会 ((株) 本田技術研究所) 内田孝尚

内容：

VE (Virtual Engineering) 環境を用いた開発・ものづくりが進んでいる。また、VT (Virtual Test) を用いた認証が拡大しつつある。VE/VR/VT 等の展開動向を過去の動きから今後を説明する。

5. 16:10-16:30

質疑応答&まとめ

定員 50 名

聴講料 会員 10,000 円 (学生員 5,000 円)、会員外 15,000 円 (一般学生 7,500 円) (いずれも教材含む) (協賛団体会員の方も本会会員価格で聴講できます)

教 材

教材のみ希望の場合は、また聴講者で教材を余分にご希望の方は

Web (https://www2.jsme.or.jp/fw/index.php?action=kousyu_index&gyojino=16-167)
からお申し込み下さい。1冊につき、会員2,000円、会員外3,000円にて頒布いたしますので、開催前に予約申し込み下さい。講習会終了後発送いたします。

申込方法

https://www2.jsme.or.jp/fw/index.php?action=kousyu_index&gyojino=16-167 から御
願います。

問合先

一般社団法人 日本機械学会

設計工学・システム部門担当職員 滝本 真也

〒160-0016 東京都新宿区信濃町 35 番地信濃町煉瓦館 5 階

電話 03-5360-3505 E-mail:takimoto@jsme.or.jp